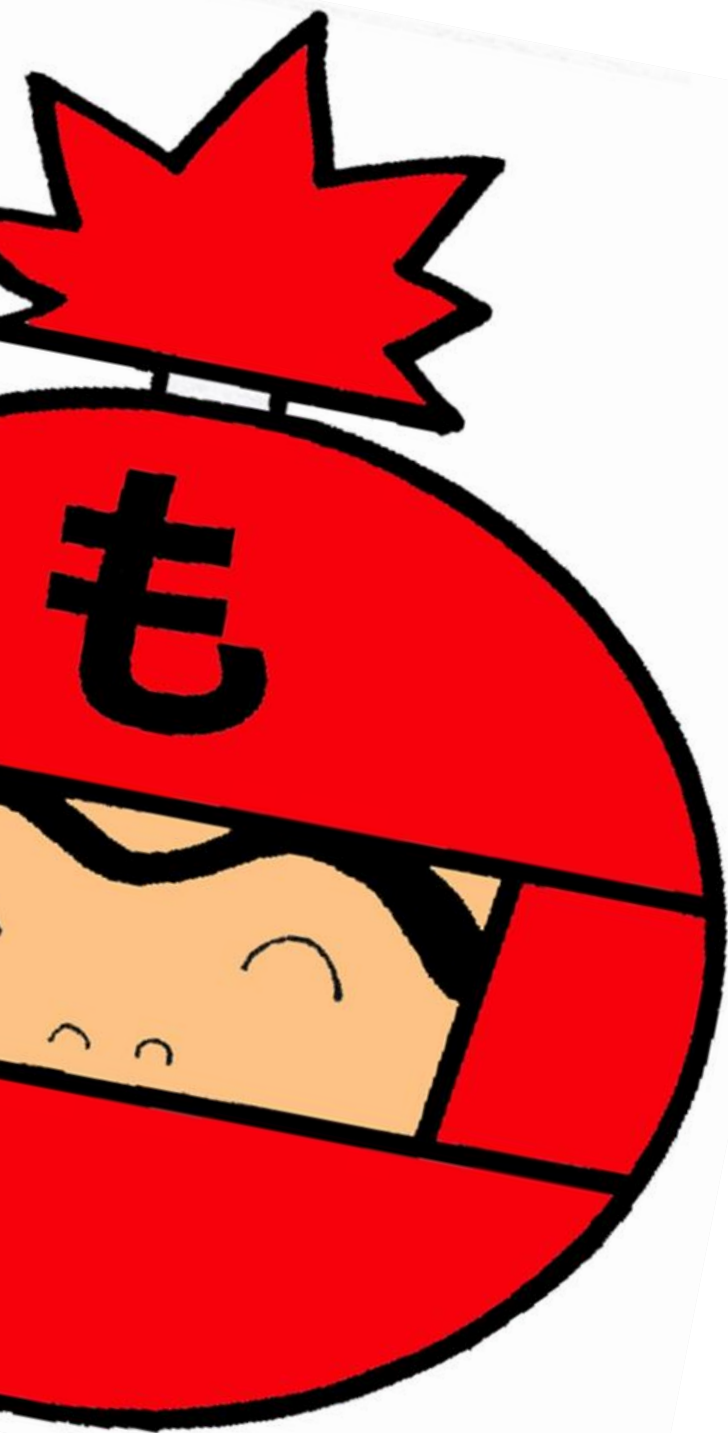




平成24年度

日高中学校区
学校支援地域本部事業

～4年目の取り組みについて～

日高村学校支援実行委員会

目次

● 日高中学校区 学校支援地域本部事業の概要について … 1

- 1、日高中学校区 学校支援地域本部事業の目的
- 2、学校支援実行委員会を組織
- 3、事業の実施

● 平成24年度本事業の活動記録 … 2

● 日高村子ども支援ボランティア実行委員会の開催 … 3

● 24年度学校支援ボランティアの活動紹介 … 4

● 宣伝・募集・発表・お礼状 … 5

- 学校支援ボランティア募集関連資料
- 学校支援地域本部事業の発表
- 学校支援ボランティア活動後いただいたお礼

● 来年度の学校支援地域本部事業の活動に向けて … 8

- 平成 24 年度の学校支援地域本部事業の成果について
- 今後の課題として

● 最後に… … 8

日高中学校区 学校支援地域本部事業の概要について

1、日高中学校区 学校支援地域本部事業の目的

日高村は「たくましく心豊かな人づくり」を教育基本とし、村の将来像である「人と自然を大切にする共生の里、日高」にふさわしい心身ともに健康で、創意と自主性に富み人間性豊かな人材の育成を目指している。

そのため、生涯学習の観点に立ち、学校・家庭・地域が連携した総合的な教育施策を推進し、また、地域ぐるみによる青少年の健全育成を重点課題として、取り組む必要がある。

また学校教育においては、子どもたちの基礎学力の定着と学力の向上を重視し、確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな身体の調和を目指し、子どもたちの「生きる力」となる教育を推進したい。

よって、これらを踏まえ、地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図り、多様な形態の教育支援を可能とし、子どもと向き合う時間の補充を図る。

なお、本事業は日高中学校区（日高中学校・日下小学校・能津小学校）において、学校支援地域本部を設置する。

2、学校支援実行委員会を組織

地域全体で、学校教育を支援するための計画・実施に向けての学校支援実行委員会を設置した。なお、学校支援実行委員会は地域教育協議会を兼ねて設置する。

委員会並びに協議会は次に挙げる者、総勢 15 名で組織した。

- (1) 各学校の校長
- (2) 各学校の PTA 会長
- (3) 社会教育及び人権教育推進関係者
- (4) その他、多方面で活躍されている社会教育を推進してくれる地域住民
- (5) 地域コーディネーター

3. 事業の実施

(1) 地域全体で学校教育を支援するための計画・実施に向けての話し合いの場である学校支援実行委員会を合計 3 回実施した。

(2) 学校支援活動の企画、学校と支援ボランティアの間を調整する地域コーディネーターを設置し、学校支援活動の計画・実行をした。

(3) 中学校区学校支援地域本部における事業を多くの地域住民の理解を得て、参加してもらうための普及啓発・広報活動を実施した。（リーフレット等の作成）

(4) 日高中学校区学校支援活動の実施

- ア. 学習活動等の総合学習や授業支援
- イ. 学校の花壇の整備や周辺に花のプランター等を設置して、校内美化への支援
- ウ. その他、さまざまな支援活動を展開

平成24年度本事業の活動記録

4月

24年度 ボランティア継続伺い
広報ひだかにてボランティア募集
日高中学校入学式駐車場整備
日下小学校1年生下校付き添い

5月

日高中学校吹奏楽部放課後指導

6月

能津小学校1年生～4年生へ読み聞かせ
日下小学校1年生「生きものさがし」付き添い
日高中学校吹奏楽部放課後指導
日高中学校草刈り

7月

能津小日高音頭の指導

8月

ボランティアリストの配布

9月

日下小学校1年生竹馬、2年生マスト登り練習
日下小学校1年生読み聞かせ
第1回日高村子ども支援ボランティア実行委員会
日下小学校2年生「生きものさがし・川遊び」同行

10月

日下小5,6年生陸上競技会に向けて練習付き添い
日高中学校技術授業（大根植え）の為に畑耕し
日下小学校1年生読み聞かせ

11月

日下小学校5年生家庭科ミシン指導
日下小学校1年生朝読書読み聞かせ
日高中学校マラソン大会見守り
日下小学校2年生東部児童館へ校外学習付き添い

12月

日下小学校学年ペースランニング見守り
日下小学校6年生家庭科ミシン指導
日下小1年生読み聞かせ
能津小学校マラソン見守り
第1回学校支援ボランティアの会開催

1月

日下小1年生読み聞かせ
日下小学校1年生昔遊び指導・練習補助・発表

2月

日下小1年生読み聞かせ
日下小学校2年生昔遊びゲストティーチャー
能津小学校3,4,5年生校外学習
能津小学校1,2,3,4年生読み聞かせ
第2回日高村子ども支援ボランティア実行委員会
第2回学校支援ボランティアの会開催
日高中学校吹奏楽部指導

3月

日下小1年生読み聞かせ
第3回日高村子ども支援ボランティア実行委員会
日下小学校庭木の剪定
日高中学校卒業式駐車場整理
能津小ピザ焼き体験

日高村子ども支援ボランティア実行委員会の開催

日高村子ども支援ボランティア実行委員会とは、学校支援地域本部事業、放課後子ども教室推進事業、家庭教育支援基盤形成事業の 3 つの教育支援活動を統括した実行委員会であり、学校支援実行委員会（地域教育協議会）を兼ねるものである。

第 1 回開催 平成 24 年 9 月 10 日【出席者 14 名】 日高村商工会 2 階会議室

教育委員会からの挨拶で開会し、その後 24 年度の実行委員会の会長の選出を行いました。

開催時期が遅くなってしまった為、活動報告兼今年度の活動方針を報告し全員で確認しました。その後、活動の質問や方針に関するさまざまな提案や意見を挙げていただきました。最後に、今後の日程を確認、決定しました。

第 2 回開催 平成 25 年 2 月 6 日【出席者 12 名】 日下小学校会議室

日下小学校運営協議会設置推進委員会の委員とほぼ同じメンバーだった為、日程を併せての開催になりました。

前回開催から 3 ヶ月間の学校地域本部事業・放課後子ども教室推進事業・家庭教育支援基盤形成事業の進捗報告をしました。またその他の項目においてコミュニティスクールについての意見交換が行われました。

活動に対しての質疑応答やさまざまな提案、意見を挙げていただいた後今年度最後の日程を確認、決定しました。

第 3 回開催 平成 25 年 3 月 4 日【出席者 16 名】 日下小学校会議室

第 2 回と同じく日下小学校運営協議会設置推進委員会の日程を併せて開催しました。

学校地域本部事業・放課後子ども教室推進事業・家庭教育支援基盤形成事業の進捗・総括報告を行い、反省を鑑みての来年度の計画報告をしました。また家庭教育の重要性や、防災についての話題が上がり、来年度の課題として提起されました。

24 年度学校支援ボランティアの活動紹介

学校支援ボランティアの会

学校支援ボランティアの方々の情報交換・意見交換や交流の場になるように開催しました。

内容は学校支援の状況を写真や動画で紹介したり、学校の状況を報告したり、ボランティアさんの「想い」を発表してもらったりなど、自由な場として行いました。

12月26日…第1回開催



- ・今年度活動発表と学校の現状（コミュニティスクールの事等）の報告
- ・体験報告：ボランティア活動に携わって…ボランティアさんからお話
- ・意見交換、アンケート調書など、ボランティアさん同士の話し合いが行われました。

2月26日…第2回開催



- ・前回の質問回答…コミュニティスクールと学校支援の違い、他ボランティア団体等との連携について
- ・体験報告：ボランティア活動に携わって…ボランティアさんからお話
- ・意見交換や、ボランティア活動の提案などが出されました。

放課後子ども教室との連携

学校支援ではなく放課後子ども教室と連携して、学校支援ボランティアの方に講師として来て頂きました。

放課後子ども教室は、学校支援とまた違ってより地元の文化や芸能・体験など企画できる自由度があり、ボランティア方の生涯学習を活かす場や交流の場として活動出来ました。

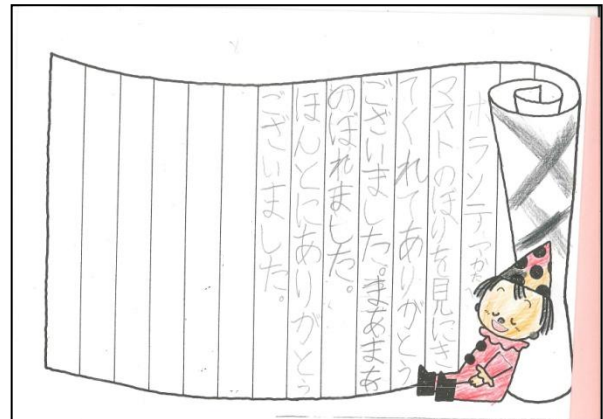
- ・8月9日…能津小学校校庭にてそうめん流し体験
- ・12月25日…能津公民館にてクリスマス会での読み聞かせとマジックショー（理科実験）
- ・2月27日…能津小学校にて郷土料理体験（押し寿司）

学校支援ボランティア活動後いただいたお礼

これまでに学校支援ボランティア活動を実施した結果、ボランティア活動に参加していただいたボランティアの方に宛てて、子どもたちからお礼のメッセージをいただきました。



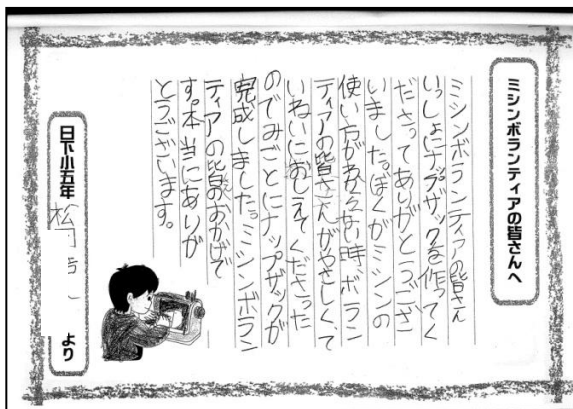
日下小2年生昔遊び



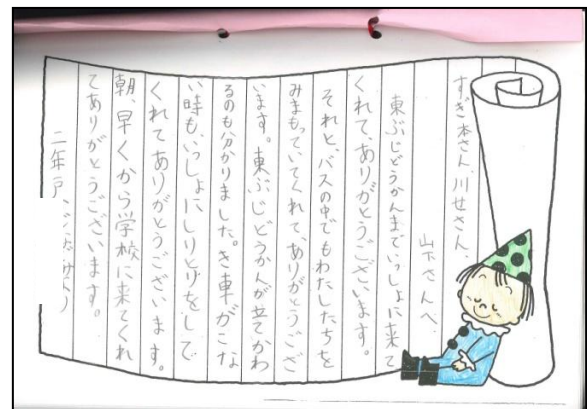
マラソン見守り



日下小学校1年生昔遊び成果発表のボランティアさんへの案内状



日下小学校5年生ミシン指導



日下小学校2年生交通機関学習付き添い

来年度の学校支援地域本部事業の活動に向けて

平成 24 年度の学校支援地域本部事業の成果について

- ・4 年目の取組みとなり、学校にもこの事業がかなり浸透してきている。学校や教員の方々の活動に対する理解と協力も進み、学校側からのボランティア要請の機会も増えた。
- ・平成 24 年度はボランティア登録されている方が多く、学校支援活動に参加出来た。
- ・学校支援のさらなる充実に向けて、ボランティア間の交流会、意見交換の場も設けられた。

今後の課題として

ボランティア活動のさらなる充実を目指して

- ・活動の場は広がってきているが、ボランティアの方々の経験や知識を幅広く学校支援に活かせるように進めていきたい
- ・ボランティア登録者を増やし、地域の他の組織とも連携を取り、より広く充実した支援に努めていきたい。
- ・授業や支援の目的を達成するために、学校・教職員の方々と話し合いを多く持ち、ねらいを明確にし、ボランティアの意思疎通を深めていきたい。

最後に…

本事業は、いわば「地域に作られた学校の応援団」であると思います。これまでも地域の皆様のご協力のもと、学校運営や教育活動の支援を行ってまいりました。

そうした取り組みをさらに発展させて、より効果的に子ども達を支援し、学校と手を結び、教育の充実を目指していきます。

学校と地域が「たくましく心豊かな人づくり」という日高村の教育基本に向かって活動することには、学校と地域の信頼関係の構築にも繋がっていきます。

ボランティアに参加して下さっている方にとっても、ボランティア活動は自らの生涯学習を活かす場であるとともに、今までに培ってきた知識や技術、経験を発揮できる場にもなります。

また活動通じて、新たな生きがいや、地縁、血縁の薄れつつある現在において、学校を中心とした新たな人と人とのつながりを築いていくことにもつながるのではないのでしょうか。

子ども達の健やかな育ちは、家庭、学校、地域の願いであります。子ども達のより良い学びの為、これからも積極的に地域の力を借り、より良い教育環境の創出を目指して学校支援を進めていきたいと思ひます

